



●11月3日に、YMCA三浦ふれあいの村で、ふれあいフェスタが行われ、本研究所も参加してきました。

活動の様子の写真や、1日の全国大会で使用した、3つの小学校の海洋教育に関するポスターも掲示しました。



クラフトワークでは、米粉粘土で、海の生き物をかたどったものに、自分で色を塗って、自分だけのアクセサリを作りました。大変好評で、1時過ぎには、完売しました。

その後も、子どもたちは、海の生き物の絵に色を塗ったりして、最後まで楽しんでいました。



●2日(木)に、初声小学校の2年生が、矢作海岸へ磯観察に出かけました。

今回は、観音崎自然博物館の山田学芸部長を講師としてお迎えしました。(今日の山田先生のTシャツは、大きなタコの絵でした)磯の状態が大変よく、子どもたちは大興奮で、カニやヤドカリ、オニヒトデなどを採集していきます。

学校に到着後、子どもたちは、山田先生に、「カニはどんな所に住んでいるのか」等の質問をしていました。

2年1組では、台風の時に学校の近くまで運ばれてきたハマガニが飼われていました。エサは、煮干しやシラスだそうです。先日、水槽を脱走して、ストーブの裏に隠れていたそうで、たいへん元気でした。



それぞれの学校で、少しずつ、海洋教育が広がってきています。



●8日に、潮風アリーナで、海洋教育写真コンテストの表彰式が行われました。

今回は、クラウドファンディングで、皆さんに協力していただき、開催することができました。大変ありがとうございました。

今年度は過去最高の927点(去年は、575点)の応募がありました。市内小中学生の3人に1人が応募したことになります。海洋教育の盛り上がりを感じています。

当日は、入賞者や保護者の皆さんが参加し、会場には作品が並べられ、東京大学の先生や校長先生方も、レベルの高さにたいへん感心していました。



(文責 事務局長 渋谷)

海洋教育についてのお問い合わせは、本研究所まで (046-854-9443)